



中国やベトナムをはじめとする世界の情報を発信しています



組合新聞

2014年2月号

発行：国際ビジネス情報協同組合

お正月もあっという間に過ぎ、1年で一番寒い2月の到来です
昨今では毛皮を着る女性も殆ど居らず、ダウンで過ごしている方が殆どですが
ノロやインフルエンザが大流行なので小まめな手洗いとうがいで
暖かくして乗り切ってくださいネ!!
今日は鬼は～外 福は～内♪
東北東に向かって無言で海苔巻をかぶりつかないといけません
以前も記載した通り、恵方巻きの起源や発祥については
諸説存在し信憑性も定かではありませんが
海苔屋や寿司屋の陰謀でしょうね～
スーパーからコンビニから寿司屋まで巻寿司でいっぱいになる日です
私も丸かぶりしようと思っていますが(笑)
とにかく寒いので風邪には気をつけて下さいネ♪

～2月号掲載内容～

- *日米関係がおかしい
- *靖国人者参拝
- *基本的に米国は米国のことしか考えていない～日本は日本であるべき
- *米国の金融政策～過去の金融政策
 - *お金の流れ
 - *金融の舵取り役は
 - *米国 FRB
- *これに対する新興国は!?
 - *投機資金
 - *韓国
 - *中国
- *オバマ大統領～よもやま話
 - *旅行

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先：info@ibia.or.jp

日米関係がおかしい

皆さんは最近日米関係に異常を感じていませんか？

安部首相は靖国神社に参拝したことについて、米国大使館と米国政府は「日本の指導者が近隣諸国との緊張を悪化させる行動を取った事について失望した」と表明しました。

ウォール・ストリート・ジャーナルや米政府関係者によると、東アジアの緊張を緩和する為に安部首相が靖国神社に再度参拝しないように確約し、第2次世界大戦に関する公式な謝罪を確認するよう日本に求めているといます。こればかりではありません、安部首相の就任当初から米国との関係がおかしい…就任直後に訪米しようとする米に断られ、押しかけて行くと晩餐会はおろかレセプションも昼食会もない、それ以上に問題と思えるのは安部首相がブレアハウス(大統領の賓客が宿泊する施設)に宿泊しているにも関わらず、すぐ近くにいるはずのオバマ大統領とは公式行事もなく、時間的な余裕があるのに接待もしなかったことが世界に知れ渡りました。また、首脳会談中のパワーランチでは食事も摂らず水だけのオバマ大統領、会談後の共同記者会見もなく極め付けは会社懇談の終わりに日本人記者から「握手を」との声から初めて立ったままの握手をしました。

こういった行為を日本側が米国大統領のみならず各国の要人にした場合どうなるでしょう？考えただけで想像がつかず。どんな事であろうとも百歩引いて考えてみても「非礼」です。

では、過去の外務省のサイトから日本国首相就任時の米国からのお祝いの電話などを見てみましょう。

① 2006年9月26日、第1次安倍内閣 ブッシュ大統領からの祝なし

初めての電話は北朝鮮の核実験公表で滞在先のソウルに電話、中間諸国への外遊成功の祝意で首相就任の祝意なし

② 2007年9月26日、福田首相 ブッシュ大統領から祝電あり

③ 2008年9月24日、麻生首相 ブッシュ大統領から祝電なし

—オバマ大統領 2009年1月 1期目就任—

④ 2009年9月16日、鳩山首相 オバマ大統領から祝電なし

⑤ 2010年6月8日、菅首相 オバマ大統領から祝電あり(6月6日就任前に電話)

⑥ 2011年9月2日、野田首相 就任前にオバマ大統領から祝電あり

⑦ 2011年12月26日、第2次安倍内閣オバマ大統領から祝電なし

—訪米した安倍首相、出迎えもなく夕食会も催されなかった。どうしてでしょう!?

これだけで判断するのは早計ですが、米国は鳩山氏は別として民主党を厚遇し自民党に代わった時は冷遇とは納得いきません。左寄りの国即ち中国やロシアなどよりも米国に頼る政権を大切にしている米国だと考えていたのですが…ましてや日米安保条約があるのでは!?

そこで現在の日米関係におかれている問題をみてみましょう。

1. 安倍首相靖国神社参拝
2. 中国の防空識別圏の一方的設定
3. 尖閣諸島問題
4. 沖縄普天間基地移設
5. TPP

など、多くの解決しなければならない問題があります。この中で一番根底にあるのは「普天間基地の移設問題」「歴史認識問題」と言われていますが、それにしても冷遇や日本に対する態度は何とも理解し難いです。TPP交渉を有利に運ぶ為なのか、或いは米国債を買っているが中国にシフトしたからか、個人的に安倍首相を嫌いなのか…国同士の付き合いとはこんなものなのか、もっと大人だと思っていました。案外子供っぽいのでしょうか!?

靖国神社参拝

安倍首相の靖国神社参拝について米国は「失望した」と発言していますが、これには裏話があります。

昨年12月12日夜、中国と韓国を歴訪して帰国したバイデン副大統領から電話がありました。内容は「韓国の朴槿恵大統領には安倍総理は靖国神社に参拝しないと思うと言っておいた。貴方が不参拝を表明すれば朴氏は会談に応じるのではないか？」安倍首相は直ちに自身の真意を伝えました。「第1次安倍内閣の時に靖国に参拝しなかったのは痛恨の極みだと言って衆議院選を戦った、参拝は国民との約束だと思っています。いずれかの段階で行くつもりだ」と言ったのですが、バイデン氏は「行くか行かないかは当然首相の判断である」と答えました。

バイデン副大統領、勇み足じゃないの？ 一国の首相相手に頭越しに一体何だと思っているの？

その上、靖国に参拝した数時間後に米国の「失望した」声明を出すことを察知した外務省は、岸田文雄外相とケネディ駐日大使との電話会談後どうするかを決めてほしいとしましたが、「ホワイトハウスの指示」として発表しました。これはバイデン副大統領が声明に拘ったということで「同盟国同士の常識」が通じませんでした。平たく言えばバイデン氏にとれば良いと思って韓国大統領に言ってやったのに顔が潰れたとしてしっぺ返しをされました。

年が明けると米国側は靖国参拝については「もう済んだ話」と位置付け日米間の融和を演出しています。「失望」とはあまりに悪かったと思ったのでしょうか。

基本的には米国は米国のことしか考えていない～日本は日本であるべき

安倍首相は靖国神社に参拝すると米国は「失望した」、またバイデン副大統領は日米関係の重要性を強調していますが、中国が一方向的に防空識別圏すると「民間の航空会社が好きにせよ」と日本とは全く違う発想で米国が火の粉を被らないように逃げて、米国の状況判断としては中国寄りです。

尖閣諸島においては「米国側はいかなる領有権争いにも関与しない」という中立的な姿勢を堅持しながら尖閣列島は日本の施政下にある、「日米安保条約の対象になる」と言ってみたり、はっきりとものを言いません。このことは日米双方が将来泥沼に嵌っていく原因を作っているのと同じです。もともと米国が世界大戦で日本より召し上げた沖縄を返還し、その一部が尖閣諸島であるのではないか!? 今更何を血迷ったことを言っているのでしょうか。

日米安保条約とはその奥底に「相互に信頼する」ということを基礎としての条約ではなかったのでしょうか？ そうであるとすれば「信頼のおける答え」「米国から日本に返還した確かに日本領土だ」という返答がありそうなものです。

総じて言えることは、過去の米国ではなく弱くなっており、バイデン氏の米中会談にしても「弱腰外交」となっています。その癖韓国からの批判を浴びている日本に対しては強気であるのは納得いきません。米国は日本の代表者である安倍首相が就任直後に訪米した折の極めて非礼な態度は米国の本心、魂胆が見えるような気がします。

大戦後、日米安保を基軸として米国の言いなりになってきた日本ですが、他人(米)に頼るのではなく、そろそろ独立しても良いのではないのでしょうか？ まして身近に迫っている中国の脅威、韓国の自主防衛をしなければならぬ時代が既に来ています。他国へ諂うことなく何処の国にも屈することのないしっかりとした確固たる独自の考えを持たねばならないでしょう。

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先：info@ibia.or.jp

米国の金融政策、過去の金融政策

米国の金融政策、緩和縮小はどのように各国に影響をもたらしているのでしょうか!?

米国の金融緩和はリーマンショック以後 400 兆ドル(400 兆円)を市場に供給しました。FRB の狙いはこの金を設備投資に回り実態経済が活況を呈してほしいと考えていましたが、このお金は米国の不動産投資や海外(米国以外)の株や不動産に回りました。海外では米国の金融緩和の資金がアジアやブラジルなどの新興国に投資されたと考えられます。

お金の流れ

米国が金融緩和の縮小をすると市場に流れたお金を返済しなければなりません。お金の流れは金融緩和の時は米国→新興国、ドル→現地通貨という構図が生じました。反対に緩和縮小では新興国→米国、現地通貨→ドルとなります。また、金融緩和は投機マネー(米の金融緩和の資金)が株式市場へ入る→株高、反対に緩和縮小は株式市場から資金が出る→株安となります。

金融の舵取り役は

先月 31 日までの舵取り役はバーナンキ議長でしたが、交代し議長は FRB(米連邦準備制度理事会)の副議長だったジャネット・イエレンが就任しました。同氏はハト派であると言われていますが、ハト派の意味とは彼女の打ち出す金融政策は緩和的であるという事です。現在行われている金融政策は量的緩和であり米国長期国債と MBS(住宅ローン担保証券)を毎月購入し、これを無期限に継続するというものでした。

昨年 5 月 23 日、バーナンキ前 FRB 議長が量的緩和縮小を示唆すると世界の株価は暴落しました。ところがイエレン氏が議長になるという見込みが高まると市場は大きく上がりました。彼女は量的緩和の縮小時期もペースも緩やかになるという見込みだからです。

米国 FRB

米国 FRB では先月 28 日、金融政策を決める連邦公開市場委員会(FOMC)を開き「米国債を大量に買い入れる量的緩和の規模の縮小を一段と進める方向」と全 FRB 議長のバーナンキ規定路線で行くことになりました。アルゼンチンやトルコなどの新興国の市場は混乱を受け、一時は縮小規模を見送る観測もありましたが、新興国は自国の政策に問題があるとして世界経済への影響は限定的になりました。米景気は順調に回復しているとして毎月の購入額を 100 億ドル(1 兆 300 億円)減らす量的緩和策を決めました。

これに対する新興国は!?

インドなどの新興国は過去米国の緩和策の影響で自国通貨高、投資資金の流入など少なくとも好影響を受けてきましたが、この投機マネーが引き上げられるとなると今度は影響が出てきます。まず、投機資金を引き上げようとする市場では自国通貨をドルに換えるのでドルが不足します。不足するということはドルが高くなり自国通貨は安くなります。輸入品は高くなり、これが物価全般を押し上げる作用へと働き、これにも増して新興国はインフレに見舞われるのです。では新興国はどのように対処するのでしょうか?

インドは金利据え置き市場様相に反し利上げを決定し、9月に0.75%引上げたばかりですが、更に0.25%引上げ8%としました。トルコ中銀は利上げを決めました。(1月29日)

米国 FRB の緩和策の規模縮小と相まって「フラジャイル・ファイブ」と呼ばれている国々即ちブラジル、インド、インドネシア、トルコ、南アフリカの経済状況から目が離せません。

投機資金

米国が緩和を縮小したので投機資金は新興国から引き上げる展開となっています。引き上げた資金の一部は米国への流入或いは安全資産日本円や金などへ。米国の金融緩和の縮小と殆ど関係ありませんが、アルゼンチンの通貨安がきっかけでアジア株式市場にも波及しました。

経常赤字国であるインドネシアやインドなどが投機筋から狙い撃ちされました。本当はこうなるべきですが少し振り返ってみましょう。

米国の元FRBのバーナンキ氏は金融緩和の目的としたのは投資・投機のためでなく設備投資でした。ところがこの緩和資金は米国のみならず各国の株・不動産投資に向かいました。不動産ではニューヨークなどの米国だけでなくドイツ、ブラジル、スペインなど新興国に向かったのです。この結果値上がりです。また、投資先は株にも波及し株式を高騰させました。株式の高騰は実態経済への影響は直接的にはありませんが、株式バブルが崩壊すると実態経済に影響するので注意を要します。昨年末に金融緩和を縮小することにしましたが、投資家はこれを折込済みとして影響は出ませんでした。

しかし、投機筋の思惑もあり先に述べたアルゼンチンを契機に各国から投機資金が引上げ出しました。

では今後はどうなるのでしょうか!?

米国は既定通りに緩和の縮小をしていくでしょう。その理由は許せる程度の失業率などの経済状況からです。

(参考)

■ジャネット・イエレン (Janet Louise Yellen)

1946年8月13日 ニューヨーク州ブルックリン生まれ

ユダヤ人で配偶者はノーベル経済学賞受賞でカリフォルニア大学名誉教授のジョージ・アカロフ
考え方はインフレより失業に関心があり、金利を容易に上げないようなハト派と見られています

■MBS (Mortgage Backed Security)

日本語ではモーゲージ証券やモーゲージバック証券とも呼ばれる

一般に住宅ローンなどの不動産担保融資の裏付け(担保)として発行される証券の事を言い、運用面で高い流動性や高い利回りが魅力となっています

■フラジャイル・ファイブ (脆弱な5通貨)

米連邦準備理事会(FRB)の量的緩和縮小に伴って下落が進みやすい新興国通貨の総称で米モルガン・スタンレーが名づけた

ブラジルリアル、インドルピー、インドネシアルピア、トルコリラ、南アフリカランドの5通貨を指し、市場では世界経済の混乱要因として意識されています。

高いインフレ率や経常収支の赤字で成長資金を国外に頼る脆弱なマクロ経済構造を抱えている点で共通している

情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先 : info@ibia.or.jp

韓国

マナー違反の告げ口外交(悪口外交)をしている朴槿恵大統領率いる韓国、経済は2012年までの家計の負債残高を増加し債務の可処分所得に対する依存度は164%に達していました。借金返済のために国民家計を切り詰め借金の返済を始めている一方、不動産の需要がなく当然にして不動産価格は下がり物価上昇率は半年くらいの間に1%未満となっています。デフレが始まったと言ってもいいでしょう。

米国の金融緩和策が世界にドルを撒き散らすようになり韓国の株式を買い漁っている状況でドルをウォンに両替するのでウォン高になっています。

韓国経済はGDPの半分位が輸出によって経済が成り立っている国で、DNP(国民総生産)の76.5%が大企業10社、特にサムソンが21.9%、現代が12.6%となっています。

ウォン高はこれを直撃し、借金返済のための内需が減少したことにより賃金下落が始まっています。日本に対する影響は補完関係になく一部の部品輸出産業を除き好影響となっています。

大統領に必要なのは国が行うべき冷静な外交であり、既成事実を客観的な条件と捉えたうえで自国の利益最大化の為の現実主義的なアプローチをとることでしょう。反日一辺倒の外交姿勢は韓国にとっても何ら益をもたらすものでなく、今までになかった安倍政権に対する余りにも執拗な批判と傲慢な態度は日本国内でも大きな反発を招き、日本国民の対韓感情が悪化していることを分からねばなりません。

中国

投資頼みで伸びてきた中国経済、景気の強い回復は伺えません。

不透明な銀行を通さない資金の流れであるシャドーバンキング(影の銀行)問題も抜本的解決していません。中国の不動産とてバブルであることは間違いなく、万一バブルが崩壊すると金融機関は貸し倒れがIMFでは300兆円、大和証券では200兆円ではないかと試算されています。では果たしてバブルが崩壊するのでしょうか!?

中国は共産党一党独裁国家であり、いざとなれば不動産価格を統制するという考え方と、シャドーバンキングなどを引き金としてバブルが崩壊に向かうという考え方がありますが、いずれにしてもこんなことになれば人民元はドルと連動していますからファンド等が引上げます。そうすると日本にも少なからず影響があります。

中国が抱えている経済に絡む問題を挙げてみると、先に述べた不動産バブル、人件費の高騰、大気汚染など環境保全の問題などです。

また、中国を生産拠点として投資対象国として見たとすれば適する国ではなくなってきています。さて、理財商品「誠至金開1号」は!?

中国工商銀行が富裕層に販売した理財商品は1月末に債務不履行(デフォルト)されるのではないかと懸念が流布されていましたが回避される事になりました。この商品「誠至金開1号」は2011年に設定され700人から30億元(約500億円)を集めました。投資先は山西省の採炭会社が資金繰りに行き詰まり、今月末の償還が危ぶまれています。この理財商品がデフォルトに陥るという懸念から短期金利市場が急上昇していました。この商品を第3者である投資家が31日までに薄価で買い取るという形で元本が返済されると言いますが、何とも不可思議な話です。採炭会社は実質破綻しており無価値なものを薄価で買い取る投資家の意図がわかりません。噂では中央政府の意向を汲んで地方政府が救済に動いたのではないかとされています。

こんなその場凌ぎのやり方は今後出てくるであろう理財商品問題に禍根を残すという意見もあります。

オバマ大統領～よもやま話

書き終えたのですが、日米関係におけるオバマ大統領の態度がどうしても理解出来ません。
気に掛り果たしてオバマ大統領とはどんな人物なのかを少し調べてみました。

氏 名：バラク・フセイン・オバマ・ジュニア (Barack Hussein Obama)

所属政党：民主党

上院議員：1期

大統領就任：2009年1月20日～

出 生：1961年8月4日 ハワイ州ホノルル

父：バラク・オバマ・シニア ケニアニャンゴマ・コゲロ黒人

母：アン・ダノム カンザス州ウィチタ生まれの白人で祖母はチェロキー人と言われています
また、ある説によるとユダヤ系であるとも言われています。

下記はある説によるものですが、信じるか信じないかは貴方にお任せします。

大統領の父は公式には上記の通りですが、実はこの結婚はフランク・マーシャル・ディビスとの不倫で結婚のときには既に妊娠をしていました。これを隠す為にバラク・オバマ・シニアと結婚したというものです。公式な父と大統領は似ておらず結婚式の写真や結婚証明書もなく、結婚式にも誰も招待されていないので出生届も偽造でないかと言われています。この写真を見る限りフランク・マーシャル・ディビスとよく似ています。



左：大統領の法律上の父、バラク・オバマ・シニア

右：大統領の母アン・ダノムの不倫相手とされるフランク・マーシャル・ディビス



フランク・マーシャル・ディビスは共産主義者の詩人、ジャーナリストでセミプロカメラマンでもあり、母がディビスの為に脱いだといわれる写真まであります。

また、公式な父とはロシア語のクラスで知り合ったと言います。

この影響を受け大統領は共産主義者または共産主義が好きだと言われているので政策は左よりで中国が好きというのも理解が出来ます。

支持率は米 CNN が昨年 12 月に発表した数字は昨年 1 月 55% だったのが 41% に下がりました。

また、ミッシェル夫人とも離婚説が信憑性を与えています。

下記のアドレス…中々面白いですよ。

<http://n-knuckles.com/case/international/news001026.html>

旅 行

皆さん、関西空港から旅行に出かける際に交通手段は!?

今までは関空の駐車場へ預けると高いし面倒だと外部の駐車場業者へ預けていましたよね。おまけに洗車サービス付で到着ロビーを出た所で出迎えてくれる便利な駐車場業者さんに…。でも今は関空内の駐車場料金も 25%OFF になるカードが出来たので利用される方も増えました。そのカードが『KIX-ITM カード』インターネットから簡単に申込み関空か伊丹空港で受け取れます。実はこのカード、1フライトにつき 10 ポイントが貯まりますが、40 ポイント貯まると何と関空内の駐車場が 24 時間無料になります!! ですから最大 25%OFF+ポイント分の無料で駐車場が利用出来る訳です。(伊丹空港でのご利用は関空とは異なりますので伊丹空港での案内をご覧ください)

関空へ到着したら、まず空港内に設置されたフライトポイント専用端末機でポイントを貯めて下さい!! 第 1 ターミナルと第 2 ターミナルに数台設置されています。

何とこのカード、提示するだけで KIX エアポートラウンジやシャワーやマッサージチェアを備えた KIX リフレッシュキャビンが利用料最大半額になり、ポイントに応じてもっと安くなるんですよ!!

それに、外貨両替所でも割引レートで両替出来たり、ホテル日航関西空港の宿泊料や飲食代が最大 20%OFF になったり、免税品では 5%OFF になり、空港内の提携店でのショッピングやお食事が優待されちゃいます!! 関空内ではこのカードを提示しまっくちやいましょう!!

詳しくは…<http://www.kansai-airport.or.jp/kc/>

海外旅行の持ち物チェック

貴重品	電化製品	その他
パスポート	カメラ	※雨具
航空券	変圧器	携帯用スリッパ
現金(日本円&現地通貨)	携帯電話&充電器	サングラス
トラベラーズチェック	ドライヤー	筆記用具
クレジットカード		※薬(胃腸薬・風邪薬・鎮痛剤)
関空KIXカード		ガイドブック
国際運転免許証		生理用品
証明書用写真		カーディガン
		水着
		ハンカチ&ティッシュ
		※洗面用具
		帽子
		圧縮袋

パスポートと搭乗券と財布だけ持っていれば出国出来ますが、その他の貴重品と電化製品は忘れない方が楽しい旅行になると思います。その他の持ち物は現地で買おうと思えば買えますが、薬は不安ですし、ガイドブックも日本語じゃないと意味わからないし、生理用品なんて赤ちゃんのオムツが買い占められているほど日本製が素晴らしいので現地で買うのはね〜。私なんて行きの荷物の中にはペットボトルのお茶だらけです(笑)

何かしら日本の物は安心出来ますよね!!

それから携帯用スリッパは機内で便利ですので、ホテルの簡易スリッパを利用するのが良いですね。ファーストやビジネスには備えられています、エコノミーにはないので機内でスリッパを履いていると浮腫みもマシになりますよ!

私なんか降りる時にビジネスのスリッパを拝借しちゃいますもんね(笑)

もう一つ、ゴルフボールをコロコロするのも浮腫みには良いですよ!

昔に比べスーツケースや液体の取り扱い、ペットボトルやハサミ、ライターなど難しくなりましたよね。ライターは一人1個まで、手荷物の化粧ポーチに小さいハサミとカミソリが入っていましたが即廃棄、ペットボトルのお茶やジュースも手荷物検査入口で即廃棄、液体はややこしくて水分を含むものは全て液体物扱いになります。化粧水や乳液、ボディクリーム、ヘアワックスやマスカラ、ハミガキ粉までが液体物扱いとなり、100mlの容器に詰め替え透明な袋にまとめて収納する必要があります。関空の荷物検査で180mlのボディクリームを廃棄された事があります。安くないのに見送りの方が来ていない限り廃棄処分になってしまうのです。皆様気をつけて下さいね。

また荷物の重量ですが航空会社や座席クラスによって重量が変わります。ファーストやビジネスクラスは高いだけあって荷物の重さもエコノミー以上の荷物が持ち込めます。

それからスーツケース、アメリカ圏へ行くなら TSA ロック付のスーツケースやスーツケースベルトが必需品です。普通のスーツケースに鍵を掛けていたものなら万が一荷物検査された時にはスーツケースはこじ開けられてぶっ壊れています。TSA ロックとは特別な鍵穴が付いていますが鍵はありません、アメリカの各空港に配備された TSA 職員が鍵らしいツールを持っており開錠して検査し、検査後は施錠して戻してくれるのです。TSA ロックのついていないスーツケースの場合は諦めてロックをかけずに預けましょう。もしくは TSA ロック付のベルトを装着すればスーツケースは壊されません。

旅先でのパスポート紛失…たまにありますね。こういう時は現地の日本大使館や領事館で再発行してくれるのですが、当然にしてパスポート用の写真が必要ですが現地で撮影なんて事になると時間的に大きなロスです。日本から写真を持っていきましょう。その時にはパスポートのコピーも持参していると本人確認が早く発給のスピードアップにも繋がります。

帰国を急ぐ短期の旅行やビジネスの場合では現地大使館へ行き渡航書を申請しますが、その際にも写真は必要です。パスポートを紛失した際には予定通りに帰国できません。余計な費用も掛りますので保管には十分お気を付け下さい。

もう一つ、外貨の両替手数料をお安く、またはタダにする方法があります。

FX 口座を使って海外の銀行に送金する方法もありますが、FX って身近じゃないですもんね。

一つはマネーパートナー、両替手数料が最大 98%OFF で 1 回たったの 500 円の手数料で空港で外貨を受け取る事が出来ます。詳しくは… <http://www.moneypartners.co.jp/exchange/>

もう一つはシティバンク、シティバンクには海外両替用のカードがあり現地の ATM で現地通貨を引き出せる優れたもの。ATM は 365 日 24 時間営業で換金手数料は無料ですが引出手数が 1 回 200 円掛ります。ただ、カード発行手数料として最初に 1050 円が必要です。世界 130 ヶ国以上で約 70 万台以上の ATM ですから日本人が訪れる国や地域は殆ど網羅していると言えるでしょう。

皆さんも一度調べてみてはいかがですか?